

女性活躍推進事業【山形県】

総事業費	2,135 千円
交付金額	1,067 千円

地域の実情と課題

- ・本県の企業における女性管理職割合（課長相当以上）は10年以上も横ばいが続き、令和5年度は16%と女性の登用が進んでいない状況。
- ・本県の若年女性の転入転出率は、近年、全国順位で見ると42～44位で推移し、他都道府県と比較してもより深刻である。

事業の特徴

県内在住の社会人女性と女子学生を対象とした交流会を実施し、パネルディスカッションやグループトークを通して、参加者同士でのキャリアやライフスタイルの共有による自己肯定感の向上や山形で暮らし働くことの魅力等をイメージするきっかけとしてもらう。

事業の効果

女性管理職を有する事業所の割合の目標値60%以上を達成することができた。事業の参加者を対象に実施したアンケートでは、「参考となるロールモデルを知ることができた。私もチャレンジしたいと思った。」などの前向きな意見が多く上がり、さまざまな分野での活躍に対する女性自身の意識改革を図ることができた。

目的・目標

- ・経営者が考える女性管理職登用の課題のひとつである“女性の意識の消極性”を改善することを目的とし、女性同士が意見を出し合う中で自己肯定感を高め、管理職として活躍できる人材の育成につなげる。
- ・山形で暮らし活躍する女性との交流を通し、若年女性が山形で暮らすことの魅力や山形でのキャリア形成の可能性を発見することで地元定着意欲を高める。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	女性管理職を有する事業所数割合の増加	60%以上 (アウトカム)	64.4% (R7)
事業KPI	交流会の参加者数	60人 (アウトプット)	61人
	参加者アンケートによる満足度	80%以上 (アウトプット)	90.3%

連携団体

やまがた女性活躍応援連携協議会

今後の課題

より多くの方に参加いただくために、交流会の回数や地域を拡大し、更なる事業の充実を図る。

事業の概要

事業概要

山形で暮らし働く若手社会人女性と県内外の女子学生の交流会を開催し、女性同士が意見を出し合う中で自己肯定感を高め、管理職として活躍できる人材の育成につなげる。

また、山形で暮らし活躍する女性との交流を通し、若年女性が山形で暮らすことの魅力や山形でのキャリア形成の可能性を発見することで地元定着意欲を高める。

開催実績

開催日時: 令和7年9月11日(木) 13:30~17:00

場所: オワゾブルー山形(山形市)



結果・実績

(目標) 交流会の参加者数: 60名 ⇒ (事業実績) 61名

参加者アンケートによる満足度: 80%以上 ⇒ (事業実績) 90.3%

アンケート結果・参加者からの声

・「参考となるロールモデルを知ることができた。私もチャレンジしたいと思った。」「色々な生き方、働き方があることを知って、山形に残るメリットが自分の中で多くなった気がする。」等の前向きな意見が多く上がった。

・今後の開催に向けて「交流会を続けてほしい」「地域単位で開催してほしい」といった要望や、「女性同士が交流できる場をつくることに携わりたい」「繋がりができた方々と一緒に活動してみたい」といった次年度以降の展開に繋がる声も聞かれた。